

UNICORN

日本イェイツ協会会報 2007. 1. 20

1. 2006 年度第 42 回大会報告

昨年 9 月 16 日（土）、17 日（日）に開かれました 2006 年度第 42 回大会は、大会開催校慶應義塾大学の萩原真一先生のご尽力により、盛会のうちに終了しました。特別講演、シンポジウム、ワークショップ、研究発表いずれも充実したもので、参加者も多く、意義ある大会となりました。

特別講演 “W. B. Yeats and the Irish Revival” を行なっていたいただいた PJ Mathews 氏をはじめ、関係の皆様には、心よりお礼を申し上げます。

また、御多忙中にもかかわらず、開会の挨拶を行なっていたいただいたアイルランド大使館広報・文化担当 Aisling Braiden 氏には、深く感謝いたします。

2. 2007 年度第 43 回大会のお知らせ

第 43 回大会は、2007 年 9 月 15 日（土）、16 日（日）の両日、北九州市立大学で開催されます。

大会会場提供の労を快くお引き受けくださった北九州市立大学の木原謙一氏をはじめ、関係の皆様にお礼を申し上げます。

ゲストスピーカーとして、米国 Boston College の Marjorie Howes 氏の来日が決定しています。Howes 氏は、*The Cambridge Companion to W. B. Yeats* (2006) の編著者としても知られています。

また、シンポジウムは、松村賢一氏の司会・構成により、「イェイツと海」を行ないません。

ワークショップは、長谷川弘基氏の司会・構成で、“Lapis Lazuli” を読むことになりました。

★シンポジウムとワークショップの発言者を募集します。

▶シンポジウム「イェイツと海」

イェイツは「海」をモメントに水底や岸辺や波の心象に島や鳥や船を織り込みながら詩や劇を展開した。薄明や明暗の中で波うつリズムは生と死、肉体と魂の波動を喚起し、そこにイェイツの想像力の本質をみることができるのではないかとおもう。初期から後期の詩や劇にわたり、発言者とフロアの協力によってイェイツの詩的精神の変容を検討したい。（松村）

▶ワークショップ “Lapis Lazuli”

この詩が仮にも「良い詩」だとして、なぜこの詩が「良い詩」だと言えるのか？ いったい何がこの詩を「良い詩」にしているのか？ 作品の分析・解釈を通して一緒に考えてみたいと思います。（長谷川）

・シンポジウム、ワークショップでの発言を希望される方は、事務局までお問合せください。応募者多数の場合は、恐縮ですが、研究発表にまわっていただくこともあります。

あわせて、研究発表者も募っておりますので、事務局までお申込みください。シンポジウム・ワークショップ・研究発表への申し込み締め切りは 3 月 31 日です。

3. 新委員会が発足

昨年 9 月 3 日に、海老澤邦江、薦田嘉人両氏の立会いのもと、委員選挙の開票作業が行なわれました。その結果に基づき、9 月 15 日の委員会の議、9 月 16 日の総会、12 月 9 日の委員会の承認を経て、以下の 28 名の方々が次期委員を委嘱されることになりました。

浅井雅志、荒木映子、池田寛子、岩田

美喜、海老澤邦江、大野光子、岡室美奈子、奥田良二、木原謙一、河野賢司、小堀隆司、薦田嘉人、笹尾純治、佐藤容子、佐野哲郎、伊達直之、谷川冬二、栩木伸明、虎岩正純、中尾まさみ、萩原眞一、長谷川弘基、羽矢謙一、藤田佳也、松田誠思、松村賢一、真鍋晶子、山崎弘行
(50音順・敬称略)

新委員の任期は2年で、2007年度と2008年度です。すでに来年度の大会に向けて動き始めています。

2007年度・2008年度の会長には、山崎弘行氏(大阪市立大学)が再選されました。事務局長は引き続き奥田良二が行ない、会計は海老澤邦江氏が新たに担当します。事務局は薦田嘉人氏にもお手伝いいただきます。

4. 『イエイツ研究』新編集部の発足と第38号原稿募集について

新委員会の発足とともに、学会誌『イエイツ研究』編集委員会も改組されました。新たに編集委員を務めるのは以下の5名です。

浅井雅志、木原謙一、笹尾純治、谷川冬二、三神弘子

委員長には浅井雅志氏(京都橘大学)が選ばれ、編集部新住所は、

〒606-8175
京都市山科区大宅山田町34
京都橘大学文学部
浅井雅志研究室内
Tel: 075-571-1111
Email: Asai@tachibana-u.ac.jp

に変わりました。

皆様からの論文・研究ノートのご投稿をお待ちしております。投稿規定は『イエイツ研究』第37号をご覧ください。締め切りは5月15日です。

5. 日本イエイツ協会の公式ウェブサイト

当協会のオンライン版『ユニコーン』が http://www.baika.ac.jp/~tanigawa/Unicorn_Web/top.htm に設置されています。是非お立ち寄り下さい。

2007—8年度も引き続き、谷川冬二氏に運営をお願いいたしました。

6. 会員の図書を紹介

*風呂本武敏、山崎弘行、岩田美喜、伊里松俊、谷川冬二著『テキストとコンテキストをめぐって—W. B. イェイツの場合—』(英宝社、2006年)

*風呂本武敏著『見えないものを見るカールトの妖精の贈り物』(春風社、2007年)

7. 会費納入のお願い

2006年度会費(5,000円)の納入をお願いいたします。同封しました振込用紙にて納入くださいますよう、お願いいたします。すでにお支払いいただいている方には同封しておりません。なお事務処理上の行き違いなどがありましたらお許しください。

8. 住所・所属等の変更について

ご住所・所属等に変更がありましたら、事務局にご一報ください。また、お差し支えなければ、E-mail アドレスもお知らせください。ご協力をお願いいたします。

日本イエイツ協会事務局
〒259-1292
神奈川県平塚市北金目1117
東海大学外国語教育センター
奥田良二研究室内
Tel: 0463-58-1211 (代表)
Fax: 0463-59-5365
Email: ryoji.okuda@tsc.u-tokai.ac.jp

